# 国家安全保障戦略および防衛大綱の構成

### 国家安全保障

### 策定の趣旨

### 国家安全保障の基本理念

わが国の国益と国家安全保障の目標 1 わが国が掲げる理念

# エ わが国を取り巻く安全保障環境と国家安全保障上の課題

- グローバルな安全保障環境と課題
- (1)パワーバランスの変化および技術革新の急速な進展
  - (2) 大量破壊兵器などの拡散の脅威
    - (3) 国際テロの脅威
- (4) 国際公共財(グローバル・コモンズ)に関するリスク(5) 「人間の安全保障」に関する課題
- (6) リスクを抱えるグローバル経済
- 2 アジア太平洋地域における安全保障環境と課題
  - (1)アジア太平洋地域の戦略環境の特性
    - (2) 北朝鮮の軍事力の増強と挑発行為
- (3) 中国の急速な台頭と様々な領域への積極的進出

### わが国がとるべき国家安全保障上の戦略的アプローチ 2

- わが国の能力・役割の強化・拡大
- (1)安定した国際環境創出のための外交の強化
  - (2)わが国を守り抜く総合的な防衛体制の構築
    - (3)領域保全に関する取組の強化

- 宇宙空間の安定的利用の確保および安全保障分野での活用の推進 (4) 海洋安全保障の確保
  (5) サイバーセキュリティの強化
  (6) 国際テロ対策の強化
  (7) 情報機能の強化
  (8) 防衛装備・技術協力
  (9) 宇宙空間の安定的利用の確保お (10) 技術力の強化

### 日米同盟の強化 N

- (1)幅広い分野における日米間の安全保障・防衛協力のさらなる強化
  - (2) 安定的な米軍プレゼンスの確保
- 国際社会の平和と安定のためのパートナーとの外交・安全保障協力の強化 w 4 r
  - 国際社会の平和と安定のための国際的努力への積極的寄与 地球規模課題解決のための普遍的価値を通じた協力の強化

# □ 防衛力のあり方について、防衛計画の大綱において記述

国家安全保障を支える国内基盤の強化と内外における理解促進 (3) 社会的基盤の強化(4) 知的基盤の強化 (1)防衛生産・技術基盤の維持・強化 (2)情報発信の強化 9

### 策定の趣旨

国家安全保障戦略などを踏まえ、策定

I わが国を取り巻く安全保障環境

[国家安全保障戦略を踏まえつつ、軍事面などの記述を具体化

### エ わが国の防衛の基本方針

- わが国自身の努力 基本方針
- (1)総合的な防衛体制の構築
- (2)わが国の防衛力-統合機動防衛力の構築
- 日米同盟の強化
- (1) 日米同盟の抑止力および対処力の強化 (2)幅広い分野における協力の強化・拡大
- (3)在日米軍駐留に関する施策の着実な実施
- (1)アジア太平洋地域における協力 安全保障協力の積極的な推進
  - (2) 国際社会との協力

### IV 防衛力のあり方

- 防衛力の役割
- (1)各種事態における実効的な抑止および対処

周辺海空域における安全確保、島嶼部に対する攻撃への対応、 弾道ミサイル攻撃への対応 など

(2)アジア太平洋地域の安定化およびグローバルな安全保障環境の改善 訓練・演習の実施、防衛協力・交流の推進、能力構築支援の推進、 海洋安全保障の確保 など

- 自衛隊の体制整備にあたっての重視事項
  - (1)基本的考え方

統合運用の観点からの能力評価による優先事項の明確化

- (2) 重視すべき機能・能力
- 警戒監視能力、情報機能、輸送能力、指揮統制・情報通信能力、島嶼部に対する 攻撃への対応、弾道ニサイル攻撃への対応など
  - 各自衛隊の体制

## 防衛力の能力発揮のための基盤

- 防衛生産·技術基盤 訓練·演習
- 装備品の効率的な取得 研究開発 運用基盤 人事教育
- 地域コミュニティーとの連携

防衛省改革の推進 10

知的基盤の強化 情報発信の強化

5

## 防衛力の役割の変化

### 51大綱 (S51.10.29 国防会議・閣議決定) 19年

| [背景]

- ○東西冷戦は継続するが緊張緩和の国際情勢
- ○わが国周辺は米中ンの均衡が成立
- ○国民に対し防衛力の目標を示す必要性

- [端陽]

- )東西冷戦の終結
- ○不透明・不確実な要素がある国際情勢
- ○国際貢献などへの国民の期待の高まり

安保会議·閣議決定)

9年

(H7.11.28

- [哨票]

- ○国際テロや弾道ミサイルなどの新たな脅威
- ○世界の平和が日本の平和に直結する状況
- ○抑止重視から対処重視に転換する必要性

安保会議·閣議決定)

6年

(H16.12.10

16大鑑

- (消景)

○グローバルなパワーバランスの変化

22大緇

○複雑さを増すわが国周辺の軍事情勢

○国際社会における軍事力の役割の多様化

安保会議·閣議決定

(H22.12.17

3年 ★ 25大綱 (H25.12.17

- (背景) -

- ○わが国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増大
- ○米国のアジア太平洋地域へのリバランス
- ○東日本大震災での自衛隊の活動における教訓

## [51大綱] での基本的考え方

- · [基盤的防衛力構想]
- ・わが国に対する軍事的脅威に直接対抗するよりも、自らが力の空白となってわが国周辺地域における不安定要因とならないよう、独立国としての必要最小限の基盤的な防衛力を保有

## [07大綱] での基本的考え方

- ・「基盤的防衛力構想」を基本的に踏襲
- ・防衛力の役割として「我が国の防衛」に加え、「大規模災害等各種の事態への対応」および「より安定した安全保障環境の構築への貢献」を追加

## [16大綱] での基本的考え方

- ・新たな脅威や多様な事態に実効的に対応するとともに、国際平利協力活動に主体的かつ積極的に取り組み得るものとすべく、多機能で弾力的な実効性のあるもの
- ・ [基盤的防衛力構想]の有効な部分は継承

## -22大綱]での基本的考え方

- ・ 「動的防衛力」の構築 (「基盤的防衛力構想」にはよらず)
- ・各種事態に対して実効的な抑止・対処を可能とし、アジア太平洋地域の安保環境の安定化・グローバルな安保環境の改善のための活動を能動的に行い得る防衛力

# [25大綱] での基本的考え方

- ・ 「統合機動防衛力」の構築
- ・厳しさを増す安全保障環境に即応し、海上優勢・航空優勢の確保など事態にシームレスかつ状況に臨機に対応して機動的に行い得るよう、統合運用の考え方をより徹底した防衛力

国家安全保障会議,閣議決定)

# |平和安全法制| の主要事項の関係

(横軸) 事態の状況・前提をイメージ

生外邦人等輸送(現行)[自衛隊法] 玍外邦人等の保護措置(新設) 自衛隊の武器等防護(現行) [自衛隊法] 米軍等の部隊の武器等防護(新設)

(縦軸)わが国、国民に関する事項

物品役務の提供[自衛隊法] (拡充) ・駐留軍施設等の警護を行う場合等 平時における米軍に対する 提供可能な場面を拡充 (米国)

国際的な平和協力活動 国際平和協力法

国連PKO等(拡充)

・いわゆる安全確保などの業務拡充

・必要な場合の武器使用権限の拡充

国際社会に関する事項

(非国連統括型の国際的な平和協力活動。 国際連携平和安全活動の実施

重要影響事態における後方支援活動等 の実施 (拡充)

周辺事態安全確保法改正) 重要影響事態安全確保法

- 改正の趣旨を明確化(目的規定改正)
  - 米軍以外の外国軍隊等支援の実施
    - 支援メニューの拡大

船舶検査活動 (拡充) [船舶検査活動法] ・国際社会の平和と安全の ための活動を実施可能に 国際平和共同対処事態における 協力支援活動等の実施(新設) 国際平和支援法(新法)

武力攻撃事態等への対処 事態対処法制

存立危機事態|への対処(新設)

・「新三要件」の下で、「武力の行使」を 可能に

- 密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これに よりわが国の存立が脅かされ、国民の生命、自由および幸 (1)わが国に対する武力攻撃が発生したこと、またはわが国と
- (2) これを排除し、わが国の存立を全うし、国民を守るために 他に適当な手段がないこと
  - (3)必要最小限度の実力行使にとどまるべきこと

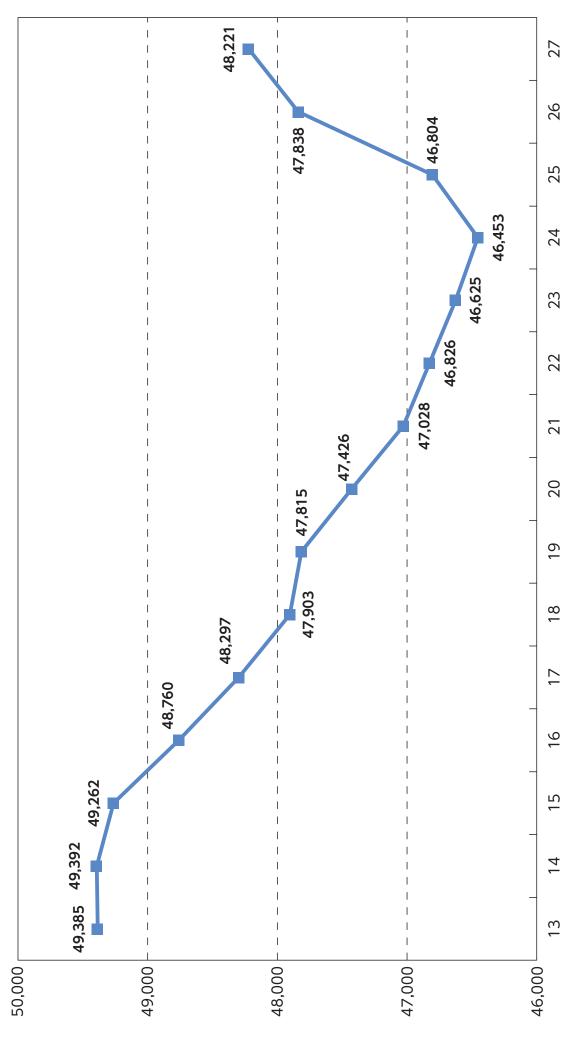
国家安全保障会議の審議事項の整理【国家安全保障会議設置法】

(注)離島の周辺地域等において外部から武力攻撃に至らない侵害が発生し、近傍に警察力が存在しない等の場合の治安出動や海上における警備行動の発令手続の迅速化は閣議 決定により対応(法整備なし。)

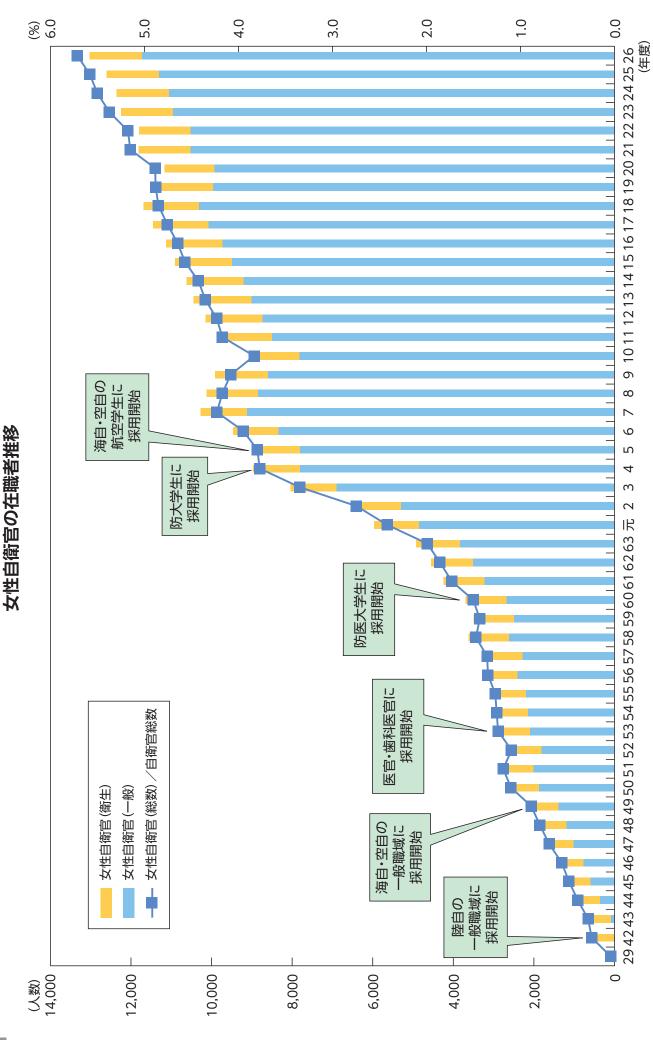
平成27年版 防衛白書

等末資料 3

# 過去15年間の防衛関係費(当初予算)の推移



49,550 億円、14年度は49,557億円、15年度は49,527億円、16年度は49,026億円、17年度は48,560億円、18年度は48,136億円、19年度は48,013億円、20年度は47,796億円、21年度は47,741億円、22年度は47,903億円、23年度は47,752億円、24年度は47,138億円、25年度は47,538億円、26年度は48,848億円、27年 13年度は 上記の計数は、SACO関係経費、米軍再編経費のうち地元負担軽減分および新たな政府専用機導入にともなう経費を含まない。これらを含めた防衛関係費の総額は、 度は49,801億円になる。 (世



(注) 平成27年(2015年)3月末現在女性自衛官は12,958名(全自衛官現員の約5.7%)

### □ 国際緊急援助活動□ :日子口特措法(補給支援法)に基づく活動□ :日イラク人道復興支援特措法に基づく活動□ :ソマリア沖・アデン湾海賊対処 2014.3~5 マレーシア航空機の消息不明にともなう、捜索救助活動などを実施 国連エボラ緊急対応ミッションに個 2015.1 エア・アジア航空機の消息不明にと もなう捜索救助活動を実施 2015.4~5 ネパールでの大地震に際し、医療活 動を実施 2004.12 ~ 05.1 帰国中の海自護衛艦を迅速に投入し、 捜索救援を行う インドネシア国緊活動 イラン国緊活動に必要な 16 旧イラク人道復興支援 特措法に基づく活動 2003.12~09.2 イラク復興で見せた自衛隊の活動に 対し世界中から評価 日米同盟の強化に貢献 34 マレーシア国緊活動 西アフリカ国緊活動 JICAと連携し、援助物資を空輸 ネパール国緊活動 17 タイ国緊活動 □:ペルシャ湾掃海艇派遣□:国連平和維持活動 $2003.12 \sim 04.1$ 人防護具を空輸 2014.12 വ 2013.11~12 フィリピンでの台風被害に際し、医 療・防疫、被災民などの輸送活動な どを実施 2011.2 ~ 3 警察、消防、海保などのチームを輸送 国連南スーダン共和国 ニッション 2011.11 ~現在 南スーダンの国造りおよび文民保 護支援に貢献 2003.7~8 世界食糧計画(WFP)の要請に 基づく活動に協力 国連東ティモール 暫定行政機構 2003.3~4 人道的支援のため、政府専用機 で物資を輸送 イラク被災民救援 フィリピン国緊活動 13 イラク難民救援 2 **ロュージールン** 2002.2 ~ 04.6 最大規模のPKO参加 初の女性自衛官参加 000 28 国緊活動 4 31 UNHCRの要請に基づき、救援物資を輸送 11 旧テロ特措法に基づく 協力支援活動 アフガニスタン難民 救援 2010.9 ~ 2012.9 東ティモールの治安維持と回復に寄与 現地における初の統合運用調整所 を開設 諸外国との連携により任務を達成 2010.2 ~ 2013.2 ハイチ国緊活動に連接した派遣 大地震後の復旧・復興支援 29 パキスタン国緊活動 国際社会における防衛省・自衛隊の活動実績 2001.11~07.11 テロを根絶するための努力 諸外国軍隊との連携強化 国連ハイチ安定化ニッション 国連東ティモール 統合ミッション 50 $2010.8 \sim 10$ 10 28 30 TER. (N 3 5 SE SE トルコ国緊活動に必要な物資輸送 海自初の約23日の連続航海により任務を達成 80 30 30 30 30 30 8 2 2001.2 外務省や非政府組織 (NGO) などとの連携を 教訓 インドネシア国緊活動 ハイチでの大地震に際し、迅速な輸送、医療活動を実施 わが国船舶だけでなく諸外国の ンマリア 中・ア ドン 派 27 ハイチ国緊活動 空自の輸送隊により援助物資輸送 8 東ティモール難民救援 2009.10 医療援助を迅速に実施 34 34 18 海賊対処 2009.3 ~現在 9 インド国緊活動 $2010.1 \sim 2$ 36 船舶も護衛 $1999.11 \sim 00.2$ 26 $1999.9 \sim 11$ 24 国連スーダンミッション 2007.3 ~ 11.1 初の武器および兵士の監視業務を 遂行 旧補給支援法に基づ 補給活動 国連ネパール政治ニッション 2008.1~10.1 中断していた業務を再開 諸外国対テロ活動への支: 2008.10 ~ 11.9 司令部要員を派遣 スーダン安定化に寄与 1996.2 ~ 2013.1 中東の安定化に寄与 17年間にわたり部隊派遣 国連兵力引き離 監視隊 32 1998.11~12 自衛隊の初の国緊活動 長距離の空輸を達成 ホンジュラス 国緊活動 35 23 9 インドネシア国緊活動 2005.10 ~12 空自輸送機で陸自ヘリコプター を展開 1993.5 ~ 95.1 初の国連司令部への派遣 初の陸・海・空目衛官からなる 部隊を編成 ロシア・カムチャッカ 半島沖国緊活動 海自潜水艦救難艦が迅速に対応 1994.9~12 初の人道的な国際救援活動 アフリカなどからの高い評価 約1,000名の大規模な救援 初の陸自ヘリコプターの展開 初の統合連絡調整所を開設 パキスタン国緊活動 インドネツア国緊隊 ペピツャ湾掃海艇 4 ルワンダ難民救援 1992.9 ~ 93.9 自衛隊の初のPKO 陸・海・空自衛隊から参加 国連モザンビーク 活動 2006.6 医療支援、防疫活動を実施 1991.4~10 自衛隊の国際協力の原点 国連カンボジア 暫定機構 現地でJICAと連携 9